

A5. Réflexions sur l'enseignement du français en ligne au lycée pendant la crise de la COVID-19

新型コロナ下の高等学校におけるフランス語オンライン授業の現状と展望

Shigeru NAKANO 中野 茂 (Lycée de l'Université Waseda 早稲田大学高等学院)

Yukie MATSUDA 松田雪絵 (Lycée Inagakuen 伊奈学園総合高等学校)

Chihiro SAKURAGI 櫻木千尋 (Lycée Caritas カリタス女子高等学校)

Hiroko SUGANUMA 菅沼浩子 (Lycée de l'Assomption Kokusai アサンプション国際高等学校)

Niveau : débutant - avancé 初級～上級

Langue : japonais

Mots clés : enseignement en ligne オンライン授業, enseignement du français dans le secondaire 中等教育におけるフランス語教育, la covid-19 新型コロナ

本発表では、4校のフランス語教員の報告を通して、新型コロナ下の高等学校におけるフランス語のオンライン授業の現状を把握し、その課題と展望を示すことを目的とする。

2020年度1学期は日本のほとんどの学校が一部もしくは全部の授業をオンラインで展開せざるを得ない状況に追い込まれた。発音練習、さらにはグループワークやグループ発表など、今まで教室内で行われていた活動をすべてオンラインで行わなくてはならなくなった。このような語学教育にとっては逆風ともいえる状況において、各校のフランス語教員がオンライン授業に対応するだけでなく、オンラインというツールを積極的に活用していかに授業を実践していたかを検証していく。

今回は、アサンプション国際中学校高等学校、伊奈学園総合高等学校、カリタス女子中学校・高等学校、早稲田大学高等学院におけるオンライン授業の概要ならびに課題と展望を示す。

最後に、参加者にそれぞれの取り組み例なども紹介していただき、オンライン授業に関する考察を深める契機としたい。